

はじめに

P1用 L-Acoustics Q-SYS プラグインは、ユーザーインターフェースやモニタリング機能を高度にカスタマイズする必要があるプロジェクトにおいて、QSC Q-SYS プラットフォームを用いて L-Acoustics のSRシステムを統合することを可能にします。

対応デバイス：P1

L-Acoustics Q-SYS プラグイン バージョン 1.5.4 は、Q-SYS Designer ソフトウェア バージョン 8.1.0 以降に対応しています。

リリースノート (2025年2月 - バージョン 1.5.4.0)

新機能

QP-137	ファームウェア バージョン 2.15 に対応
--------	------------------------

修正された問題

公開リリースの履歴

- 2024年10月 - バージョン 1.5.3
 - ファームウェア 2.14 に対応
- 2024年6月 - バージョン 1.5.2
- 2024年2月 - バージョン 1.5.1
 - ファームウェア 2.13に対応
- 2022年11月 - バージョン 1.5.0
 - デザイン時プロパティではなく、実行時に IP アドレスを設定可能に
 - 新しい DSP バス遅延 制御機能を追加
- 2022年8月 - バージョン 1.4.0
 - ファームウェア 2.12 に対応
- 2021年10月 - バージョン 1.3.0
 - プライマリおよびセカンダリ間の IP 制御フェイルオーバーに対応
 - GPO を使用した CRF クロック入力のモニタリング
 - デバイスのシリアル番号を出力ピンで表示
- 2021年7月 - バージョン 1.2.1
 - メディアプレーヤーのフォルダーおよびファイルインデックスの変更、自動再生機能を追加
- 2020年10月 - バージョン 1.2.0
 - ファームウェア 2.11に対応
 - マトリクスミキサー制御用の新しいページを追加
 - カスタム入力/バス/出力ラベルの表示機能を追加
 - スリープ再生の繰り返しボタンを追加
- 2020年4月 - バージョン 1.1.0
 - ファームウェア 2.10 に対応
 - DSP バス 5~8 の追加サポート
 - AVB 入力ストリームチャンネルのマッピングに対応
 - AVB 出力ストリームチャンネルのマッピングに対応
 - メディアプレーヤー内の現在フォルダーにあるトラックリストの表示機能を追加
 - TCP 接続のオン/オフ制御を追加
 - システムログの有効/無効を切り替える新しいプロパティを追加
- 2019年6月 - バージョン 1.0.2
 - 名前が指定されていない場合でも設定を保存可能に（既存の名前を使用または新規生成）
 - ファームウェア 2.9.10 以降に対応

- 2019年4月 - バージョン 1.0.1
 - 前回の設定読み込み以降に変更があった場合、設定番号にアスタリスク（*）を表示
 - プラグインから P1 メモリへ設定をリモート保存可能に
 - 現在のファームウェアバージョンを表示する新しいコントロールを追加
- 2018年10月 - バージョン 1.0.0
 - 初回リリース

互換性

デバイス互換性

L-Acoustics Q-SYS プラグイン バージョン	P1 ファームウェア バージョン	Drive System リリース	Q-SYS Designer最小バージョン
1.5.4	2.9.2.3 ~ 2.15.x	2018年8月以降	8.1.0
1.5.3	2.9.2.3 ~ 2.14.x	2018年8月 ~ 2024年11月	8.1.0
1.5.2, 1.5.1	2.9.2.3 ~ 2.13.x	2018年8月~ 2024年6月	8.1.0
1.5.0, 1.4.0	2.9.2.3 ~ 2.12.x	2018年8月~ 2023年9月	8.1.0
1.3.0, 1.2.1, 1.2.0	2.9.2.3 ~ 2.11.x	2018年8月~ 2022年5月	8.0.0
1.1.0	2.9.2.3 ~ 2.10.x	2018年8月~ 2020年7月	7.1.0
1.0.2, 1.0.1, 1.0.0	2.9.2.3 ~ 2.9.x	2018年8月~ 2019年12月	7.1.0

機能の互換性

機能	対応デバイス	最小対応ファームウェア バージョン	最小対応 Drive System リリース	L-Acoustics Q-SYSプラ グインの最小バージョン
DSP バス 遅延	P1	2.9.2.3	2018年8月	1.5.0
IP制御フェイルオーバー	P1	2.10.1.1	2020年4月	1.3.0
メディアプレーヤーフォ ルダの変更	P1	2.11.5.8	2021年7月	1.2.1
マトリックスミキサー	P1	2.9.2.3	2018年8月	1.2.0
DSPバス5~8の追加	P1	2.10.1.1	2020年4月	1.1.0
AVBネットワーク冗長化	P1	2.10.1.1	2020年4月	1.1.0

P1用 L-Acoustics Q-SYS プラグインのインストール

P1用の L-Acoustics Q-SYS プラグインは、Q-SYS Asset Managerにおいて **L-Acoustics Networked Audio Processor** という名称で提供されています。

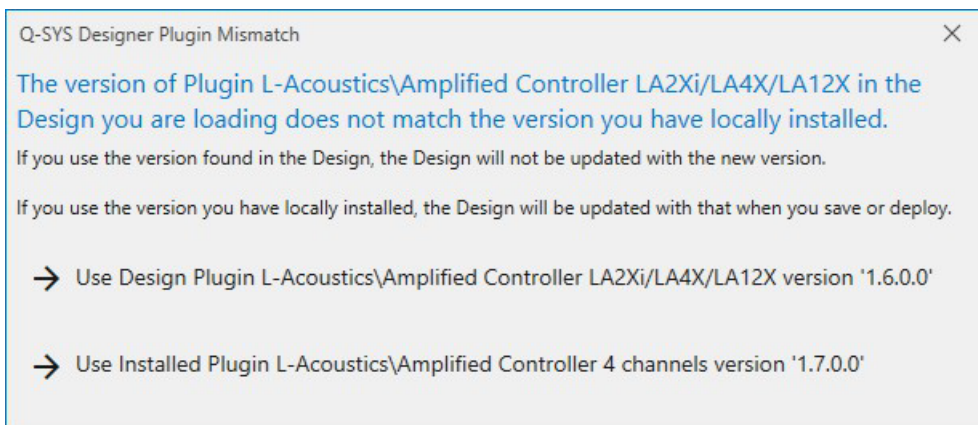
Q-SYS Asset Managerの **Version(バージョン)**、**Install(インストール)**、**Update(更新)**、**Remove(削除)** を使用して、ローカルの Q-SYS Designer プラグイン ライブラリ内のプラグインを管理してください。

既存デザインの更新

異なるバージョンのプラグインで作成された既存のデザインを開くと、Q-SYS Designer は、どのプラグインバージョンをこのデザインで使用するかを確認してきます。

プラグインが削除されていた場合でも、過去バージョンのプラグインを使用してデザインを保存することが可能です。保存時に、プラグイン全体がデザインファイルに含まれるためです。

確認画面が表示された際は、過去バージョンを使用する場合は「**Use Design Plugin (デザイン内のプラグインを使用)**」を、最新バージョンを使用する場合は「**Use Installed Plugin (インストールされているプラグインを使用)**」をクリックしてください。



各新バージョンのリリースは、以前のバージョンとの下位互換性があります。

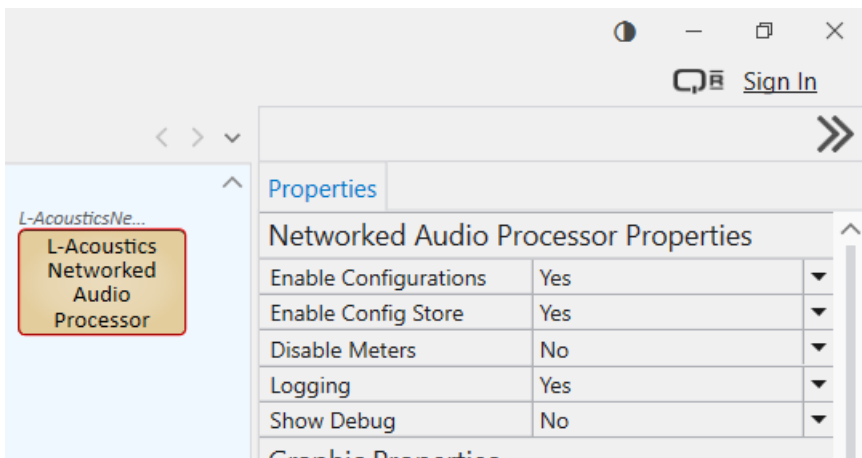
「**Use Installed Plugin (インストールされているプラグインを使用)**」オプションを選択した場合、そのデザイン内にあるプラグインのインスタンス数だけ、確認ダイアログが表示されます。これは Q-SYS Designer の仕様どおりの動作です。

! **Q-SYS Designer Plugin Mismatch (プラグインの不一致)** ダイアログが、Q-SYS Core ハードウェアに接続している状態で表示され、「**Use Installed Plugin**」が選択された場合、Q-SYS Designer 上のプラグインは最新バージョンにローカルで更新されます。ただしその後、「**Save to Core & Run (Core に保存して実行)**」を必ず実行して、Q-SYS Core 内部で動作しているデザインも更新する必要があります。これを実行しない場合、プラグインの動作が予測不能になる可能性があります。

コンポーネントの説明

プラグインを「**Schematic Elements（スキマティック要素）**」からデザイン画面にドラッグします。

デザイン内のコンポーネントブロックをクリックすると、その**プロパティ**が表示されます。



Enable Configurations

アンプリファイド コントローラー内に保存されている設定（プリセットおよびグループパラメーター）を呼び出す機能を有効にします。プリセットおよびグループパラメーターの詳細については、アンプリファイド コントローラーの取扱説明書を参照してください。



LA Network Manager がデバイスに接続されている状態では、設定の呼び出しは絶対に行わないでください。設定競合が発生します。設定呼び出し機能は、LA Network Manager による監視の代替として設計されているため、設定を呼び出す際は、LA Network Manager を使用しないか、オフラインモードにするか、切断してください。

Enable Config Store

現在のプロセッサの状態新たな設定として保存する機能を有効にします。

Disable Meters

デバイスからのメーター通知の受信を無効／有効にします。メーターを無効にすることで、Q-SYS Coreの制御処理負荷を軽減できる場合があります。

Logging

ステータスメッセージをシステムログに記録する機能を有効／無効にします。

Control Pins

必要に応じてコンポーネント上に表示するコントロールピンを編集するためのセクションを展開します。**Control Pins** のツリーは、デバイスプロパティに応じて動的に更新されます。

ユーザーインターフェースの説明

コンポーネントをダブルクリックすると、ユーザーインターフェースが開きます。表示されるタブの内容は、コンポーネントのプロパティに応じて異なります。

IP 接続

The screenshot shows the 'IP Connection' tab of a user interface. It is divided into two main sections: 'Primary' and 'Secondary'. The 'Primary' section has a 'Connected' status with a green circle, an 'IP' input field containing '192.168.101.41', and status indicators for 'Available' (green circle) and 'Active' (yellow circle). Below these are a 'Go Active' button and an 'Automatic Failover' button. The 'Secondary' section has an 'IP' input field containing '192.168.102.41', and status indicators for 'Available' (green circle) and 'Active' (dark green circle). Below these are another 'Go Active' button and the 'Automatic Failover' button.

- **IP**：デバイスのプライマリ IP アドレス（必要に応じてセカンダリ IP アドレス）を入力します。
- **Connected**：プラグインが現在デバイスに接続されている状態です。
- **Available**：デバイスがプライマリおよび／またはセカンダリ IP アドレスで応答しており、IP 接続が可能な状態です。
- **Active**：プラグインがソケット接続のためにプライマリまたはセカンダリ IP アドレスのいずれかをターゲットにしている状態です。
- **Go Active**：プライマリまたはセカンダリ IP アドレスへのフェイルオーバーを手動で実行します。
- **Automatic Failover**：アクティブな接続が失われた際に、プラグインが自動的に代替の IP アドレス（利用可能な場合）にフェイルオーバーします。

ステータス タブ

L-Acoustics Networked Audio Processor

Status Inputs Matrix Mixer DSP Outputs Media Player Configurations

IP Connection

Primary

Connected ☒ Available ☒ Active ☒ **Go Active** **Automatic Failover**

Secondary

IP 192.168.102.41 Available ☒ Active ☒ **Go Active**

Processor Status

Type: P1
FW: 2.12.1.3

OK - Primary

Display Lock ☒ Reboot ☒ Current Configuration *00: [NO NAME]

Condition

Temperature 58 °C 136 °F ☒ OK
82 % (0 ~ 70°C) ☒ High temp.
Humidity 4 % ☒ Over temp.

Fan Error ☒

USB

USB 1 USB 2

Connected ☒ ☒
Temp. - °C - °F
Humidity - %

Signal Status

Inputs Fallback

Input Source Active Reset Test

AES 1-2 Disabled ☒ Reset Test

AES 3-4 Disabled ☒ Reset Test

AVB 1-4 Disabled ☒ Reset Test

AVB 5-8 Disabled ☒ Reset Test

OK

Input Lock AVB ☒ 1/P ☒ 2/S AES ☒ 1-2 ☒ 3-4

Include in status AVB P AVB S AES 1-2 AES 3-4

AVB Talker(s)

Name P1 Media Clock Internal ☒

Stream 1 AAF PCM32, 96kHz, 8 ch ☒ Include

Stream 2 AAF PCM32, 96kHz, 8 ch ☒ Include

GPIO

GPIs have two functions (rising and falling edge) and GPOs have one function.
State LED: OFF = Low/Open, ON = High/Closed

GPI 1

State ☒ Load configuration slot A Slot A 1
☒ No function Slot B 2

GPI 2

State ☒ Load configuration slot B Slot A 1
☒ No function Slot B 2

GPO 1

Manual state State ☒ Manual Closed Blink 60 sec

Ethernet AES Lock AVB Lock

Eth 1 Eth 2 AES 1-2 AES 3-4 AVB 1 AVB 2 CRF

GPO 2

Manual state State ☒ Manual Closed Blink 60 sec

Ethernet AES Lock AVB Lock

Eth 1 Eth 2 AES 1-2 AES 3-4 AVB 1 AVB 2 CRF

このタブでは、プロセッサの種類、IP アドレス（該当する場合はプライマリおよびセカンダリ）、ステータス（オン / 再起動中、接続状態、ディスプレイロック）、現在のコンフィギュレーション（コンフィギュレーション制御が有効な場合。詳細は[コンポーネントの説明](#) (p.5)を参照)、本体の環境条件、GPIO 機能、入力ステータスとフォールバック設定、ならびに AVB トーカーの詳細にアクセスできます。

入力と出力のタブ

Inputs

ANALOG 1-4

Input Gain: 0dB 0dB 0dB 0dB

Mute Mute Mute Mute

0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB

CUE CUE CUE CUE

AES 1-4

0dB 0dB 0dB 0dB

Mute Mute Mute Mute

0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB

CUE CUE CUE CUE

MIC 1-4

0dB 0dB 0dB 0dB

Mute Mute Mute Mute

0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB

CUE CUE CUE CUE

0 -10 -15 -18 -20 -22 -25 -30 -40 -60

CUE 0dB Mute CLEAR

Source X:Y -60.0dB

X = input stream
Y = AVB channel

Source: 1:1 1:2 1:3 1:4 1:5 1:6 1:7 1:8

Input Gain: 0dB 0dB 0dB 0dB 0dB 0dB 0dB 0dB

Mute Mute Mute Mute Mute Mute Mute Mute

0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB

CUE CUE CUE CUE CUE CUE CUE CUE

Phantom Power: +48V +48V +48V +48V

High-pass filter 40Hz: HPF HPF HPF HPF

Preamplifier gain: +0dB +0dB +0dB +0dB

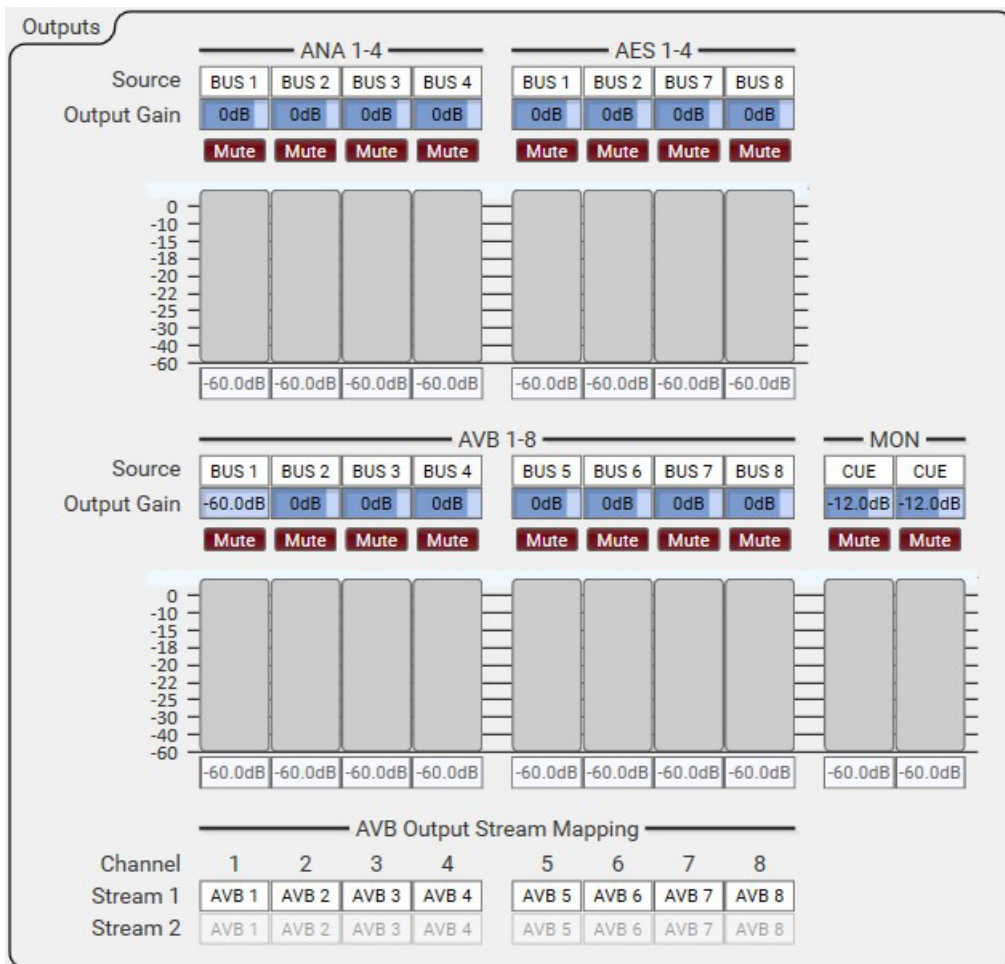
MediaPlayer -47.2dB Mute

GEN -24.0dB Mute

0 -10 -15 -18 -20 -22 -25 -30 -40 -60

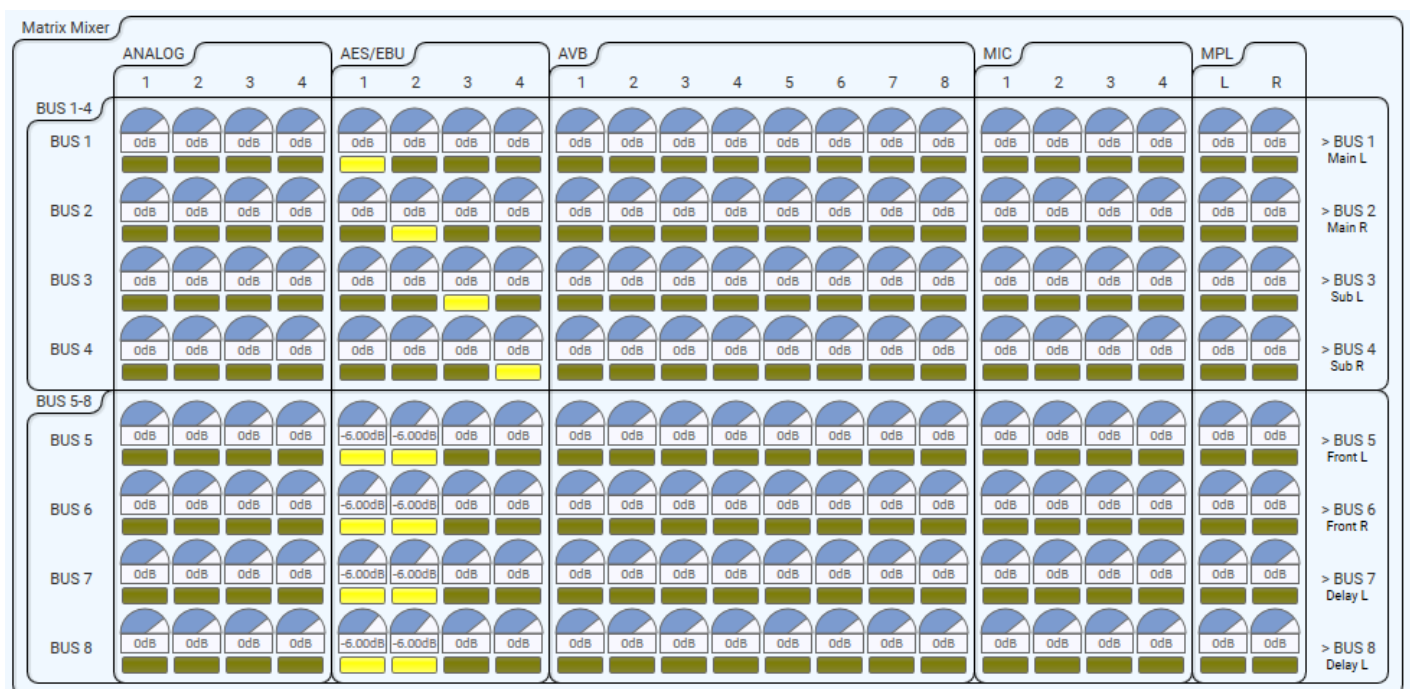
0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB -60.0dB

CUE CUE CUE CUE CUE CUE CUE CUE



これらのタブでは、入力および出力のゲイン、ミュート、メーターにアクセスできます。加えて、マイクプリアンプ、CUE ソースの選択、物理出力ルーティングの制御も可能です。

マトリクスミキサータブ



このタブでは、P1 のマトリクスミキサーのクロスポイントおよびミキシングレベルにアクセスできます。

メディアプレーヤータブ



このタブでは、内蔵メディアプレーヤーの制御（有効化、再生、レベル、リピート、再生モードなど）にアクセスできます。

Change Folder：USB ドライブ上の有効なフォルダーのパスを入力すると、メディアプレーヤーの現在のフォルダーを変更できます。パスの末尾に「::」セパレーターを使用してトラックインデックスを追加することで、新しいフォルダー内の特定トラックを同時に選択することも可能です。

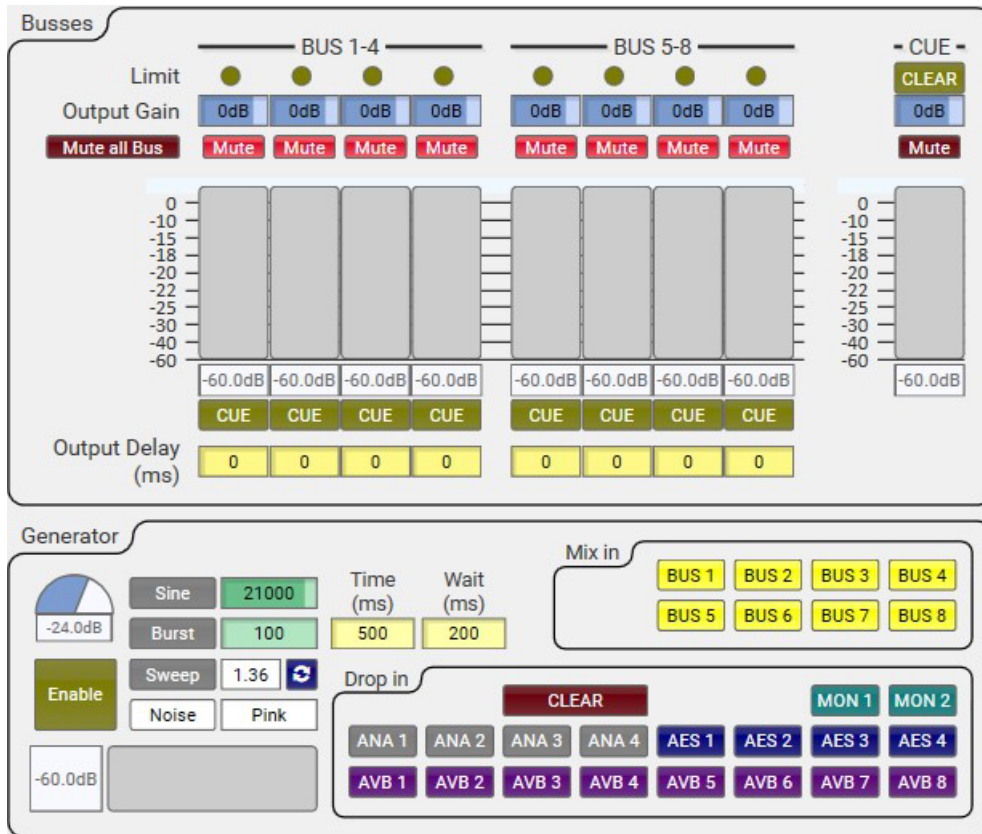
Auto Play：有効にすると、新しいフォルダーやトラックインデックスが選択された後、自動的に再生が開始されます。

Files List：「Download Folder Content」ボタンをクリックすると、現在のフォルダーにある各トラックがリストに表示されます。



トラックリストのダウンロード中は再生が停止します。

DSPタブ



このタブでは、DSP のゲイン、ミュート、レベル、シグナルジェネレーターのパラメーター、バスへのクロスポイントミキシング、および物理出力へのルーティングにアクセスできます。

コンフィギュレーションタブ



このタブでは、ユニット内で利用可能なコンフィギュレーションの一覧にアクセスできます。適切なプロパティが有効化されている場合、「Store」ボタンで設定をスロットに保存し、「Recall」ボタンでスロットから読み込むことができます。保存時は、上部のテキストボックスにターゲットとなるコンフィギュレーションの名前を入力してください。

 LA Network Manager がデバイスに接続されている状態では、設定の呼び出しは絶対に行わないでください。設定競合が発生します。設定呼び出し機能は、LA Network Manager による監視の代替として設計されているため、設定を呼び出す際は、LA Network Manager を使用しないか、オフラインモードにするか、切断してください。

著作権

QSC® および Q-SYS™ は、米国特許商標庁およびその他の国々において QSC, LLC の商標または登録商標です。

その他すべての第三者の商標、登録商標、製品名またはサービス名、ロゴ、スローガンは、それぞれの権利者に帰属します。